

topics-1 生物多様性

忠生公園は、元から谷戸である自然観察園の部分があるため様々な環境があり様々な生きものが暮らしていける、生物多様性に富んだ、豊かな公園です。



自然観察園が公園として整備された1997年より約30年の間、筆者で4代目となる専門員が、日々観察記録を取り、代々その記録を継いで来ました。しかしこの春より専門員は配置されなくなります。



今まで守ってきた、希少な動植物のみならずそこにあるのが当たり前である動植物や、



それらをまるごと育む環境が続くことを願っています。



これを読んでいる方をお願いします。
どうか、せめて今ある動植物を守ってください。
例えば、毎年見ていたお花がなくなっていたら報告するでもいい、湿生池のザリガニを取って駆除するでもいいのです。

ひとりひとりが出来ることは、微々たることかもしれませんが、
皆さんの好きなお花を守るため、
好きな鳥を守るため、
好きな虫を守るために、
ぜひ、
力をお貸しください。



2015年より9年間、忠生公園で様々な動植物を観察することが出来て本当に幸せでした。 池田倫子

（順番に、河津桜とメジロ・フデリンドウ
・ニホンイタチ・ニホンカワトンボの羽化
・ホトトギス・ゲンジボタル・オニヤンマ
・カワセミ・ミドリシジミ・ツリフネソウ）



忠生公園には幸いにも、公園の自然とそこにいる動植物を大事に思ってくれる市民・入園者の方々がいます。



topics-2 3月3日(日)定例自然観察会を行いました

今回のテーマは「早春の生きもの」で、大人7名・子供1名の計8名の参加がありました。

手始めに、滝の池にたくさん産み付けられたアズマヒキガエルの卵塊を見ながらウシガエルの話、いるとどうして良くないのか、イチ参加者であってもそれが微々たる力でも、いまある環境と生きものを守ってほしいという話をしました。

それから、咲き始めたタネツケバナの2種の違いを観察したり、落ちた枯れ葉の上を歩いているクモの中から、卵のうを抱えている個体を探してみたりしました。また、ギシギシの葉をめくり、コガタルリハムシのごはん粒のような卵もそれぞれ探してみました。



アブラチャン

最後に、北の森にそおっと入って踏まないように気をつけながらフデリンドウの芽を探しました。



<観察できた動植物>

(植物) アセビ アブラチャン ジンチョウゲ 河津桜 ホトケノザ オオイヌノフグリ
コハコベ ドングリ(根) タネツケバナ ミチタネツケバナ ムラサキサギゴケ他
(昆虫ほか) オオミノガ コカマキリの卵鞘 コガタルリハムシ(成虫・卵)
アズマヒキガエル(卵塊) ほか

参加者の感想

- ・足元の枯れ葉の中の、卵を抱えたクモ探し楽しかったです。
コカマキリの卵は知っていたカマキリの卵とは全く形が違い驚きました。
ただ歩いては気づかないこと、見つけられないことなど教えていただき
楽しい時間でした。(名無しさん)
- ・忠生公園には何度も来たことがあるのに新しい発見がたくさんありました。
ヤマコウバシのお話もおもしろかったです。(N. I. さん 21才)
- ・鳥、昆虫の生態、植物など大変詳しい池田さんの案内が終わりになるのは
残念です(ノリ) (K. K. さん 69才)

忠生公園フィールドワーク記録

調査期間 2月14日～3月11日

期間中に観察した動植物(園芸・外来種含む)

野鳥 (声のみの記録も含む) メジロ ヒヨドリ ウグイス ミソサザイ キクイタダキ
キセキレイ ハクセキレイ ムクドリ シジュウカラ ヤマガラ エナガ シメ カワラヒワ キジバト
コゲラ アオゲラ シロハラ ツグミ アオジ ジョウビタキ ルリビタキ モズ ハシブトガラス
ハシボソガラス カワセミ ダイサギ コサギ カルガモ リュウキュウサンショウクイ
(以降外来種) ドバト

昆虫 キタキチョウ キタテハ ムラサキシジミ オカモトゲエダシャク ソトカバナミシャク
ヨスジノコメキリガ コガタルリハムシ チャバネアオカメムシ ツマグロオオヨコバイ シマアメンボ
ヤツデキジラミ ホソミイトトンボ ヒシバツタほか



メジロ



キクイタダキ



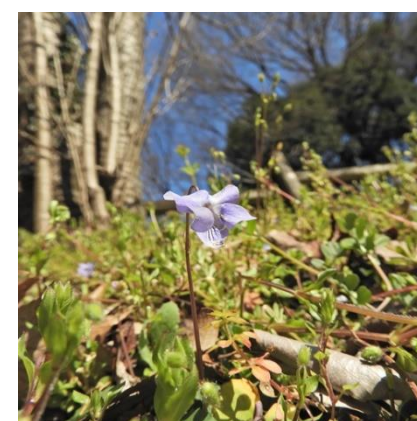
オカモトゲエダシャク

樹木 シナマンサク ベニバナマンサク ウグイスカグラ ハンノキ 河津桜 ジンチョウゲ
アセビ アブラチャン ヒイラギナンテン ウメほか

野草 タチツボスミレ オオイヌノフグリ ホトケノザ ヒメオドリコソウ ミチタネツケバナ
タネツケバナ フキ ノゲシ ヒメリュウキンカほか



シナマンサク



タチツボスミレ



オオイヌノフグリ

両生類ほか アズマヒキガエル ウズキコモリグモ キハダカニグモほか